

[okazaki_148]

活動タイトル	白糠町環境衛生会「環境衛生指導員研修会」
実施日	2023年3月11日
場所	白糠町社会福祉センター（白糠町）
対象数	44人
<p>毎年開催している環境衛生指導員研修会を、一般の方にも呼びかけて実施したいとのことでした。また、希望される内容としては、地球温暖化の現状や、温暖化による地域生活への影響及び対応・対策について高齢者にも分かりやすい学びの場としたいとのことでした。そこで、講座「家庭で実践！省エネ・節電、基本の「キ」～ゼロカーボン社会を目指して～」とワークショップ「ゲームで体感！家庭での節電」という構成としました。</p> <p>講座では、電力量（kWh）が、電力（kW）に時間（h）をかけたものになることから、電力（kW）か時間（h）を減らすために必要な次の5つのポイントを中心にお伝えしました。</p> <ul style="list-style-type: none">・見える化（知る）・設定（使い方）・使用時間・回数・選び方や代替方法・メンテナンス（お掃除） <p>また、ワークショップは、4人ずつのグループで行いました。電気の使用が多くなる冬の夕方5時から6時という設定で、その時間帯に使用している家電を、配付した家電カードから選び、平屋の間取り図に置いていくというものです。家電カードの裏には、標準的なアンペア数が記載されており、その合計が何アンペアになるかを考え、次に、グループで、アンペア数をさげるために、使い方の工夫がないか話し合い、カードを減らしてみました。これは、1月に釧路で講師として参加したセミナーで、他の講師の方が実施しておられた内容に、家電カードを少し追加し、状況がイメージしやすいように、間取り図も加えたものです。</p> <p>ワークショップは10グループで実施しましたが、1回目は、21アンペアから139アンペアまで多様で、平均は81アンペアでした。2回目は、19アンペアから73アンペアとなり、平均は44アンペアと減らすことができました。使い方の工夫も、いろいろ聞かせてもらえました。</p> <p>その後、まとめの時間を設けて、このような省エネ・節電は、それぞれの暮らしに役立つだけではなく、温暖化の悪影響を減らすことにもつながることを伝えました。</p> <p>終了後のアンケートには、「自分の暮らしを見直すきっかけになりました。見直しの方法も色々分かって良かったです。ワークショップを通して、一つの部屋に集まって過ごした方が良いと実感しました。いま、家族3人が2、3部屋に分かれて、それぞれ照明、暖房、テレビやパソコンを使用して過ごすことが多いのですが、見直そうと思いました。」「省エネ・節電、大変役に立ちました。関心がありながらもなかなか行動に移せませんでした。家族にも共有したいと思います。あと、本日、3.11の日でもあるので、余熱活用を試してみたいと思います。」「日頃から自分に何ができるか？と思いつつ、何もできぬもどかしさあり、今日のセミナーで、私にも出来る事見つけました。少しでも前向きに実施したいと思う。楽しく学べました。」などもあり、少しは、お役に立てたようで、良かったと思いました。</p> <p>また、ワークショップの前に、「結局、個人の判断に委ねられる。たとえば、LED照明の冷たい色よりも、白熱電球の暖かい色を好んで選ぶ人もいる。」という意見を伝えてくださった方がありました。それに対しては、講座では、判断の材料を提供していきたいと思っていることと、LED照明も、出始めた時とは違い、暖かい色のものも出てきていること、色を変えられる調光タイプもあることなどをお伝えしました。</p> <p>課題としては、カードや間取り図の作成に予想以上に時間がかかってしまい、進行のデザインが、不十分だった点があげられます。家電カードは、暖房、照明、キッチン、テレビ等、そ</p>	

の他と色分けされているので、それぞれのグループ毎に、置いていってみよう指示をすれば、もう少し、皆さんの理解が深まったと反省しました。

《配付資料》

- ・ PPT資料
- ・ 実践！おうちで省エネ（北海道経済産業局）
- ・ アンペアチェックシート（北海道電力WEBから出力したものを、文字を大きくしてアンペア数の合計ができるような表に加工。A3サイズ）
- ・ 毎日育児でてんやわんやなのに、なぜか省エネしたくなるBOOK（えべつ地球温暖化対策地域協議会）

実施写真等